

# 平成24年度決算に対する各会派の意見

この面と7面には、平成24年度決算に対する各会派の賛否と意見を掲載しました。

## 葛飾区議会公明党

### 今後とも、財政の健全化と区政運営の積極的な展開を

平成24年度決算の実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率のいずれを見ても、財政状況は、極めて良好であることが分かります。そのうえで、積極的に様々な区民サービスの充実に取り組んでおり、高く評価します。今後とも行財政改革に取り組み、効果的・効果的な区政運営を進められるよう求めます。

### 総務費

新小岩地区への病院の誘致の取り組みについては、区民の命を守るために、さらに病床格差是正に向けて全力で取り組むことを求めます。私立幼稚園預かり保育助成事業、耐震改修助成などが充実され、計画事業である地域活動安全活動支援、ポイ捨て防止等の環境美化活動、配偶者暴力防止事業、緊急雇用対策などについても着実に推進しており評価します。葛飾区総合庁舎の建替え整備に向けた検討、公共施設の効果的、効率的な活用を検討を進めることを求めます。

### 産業経済費

商店街装飾灯LED化支援、産学公連携事業の推進、フィルムコミッション事業という新規事業に取り組みとともに、葛飾ブランド創出支援事業、かつしか観光プランなど計画事業も推進しており評価します。

### 福祉費

高齢者福祉について、高齢化が進む中で、現行事業のさらなる推進と時宜にかなった事業の展開を要望します。待機児解消の取り組みについては、認可保育所の計画的な整備や認証保育所の保育料助成などの事業を評価します。今後は保育ママ・ベース事業の拡大を求めるとともに、各種保育サービスの拡充、質の向上を求めます。五歳児健診モデル事業のさらなる充実を求めます。病児・病後児保育については区民のニーズに沿った事業の拡充を要望します。見守り型緊急通報システム使用料助成費については、より良い制度になるよう要望します。

## 自由民主党議員団

### 区民との協働の精神のより一層の発揮を

平成24年度は東日本大震災の影響がまだまだ残っていたものの、区民との協働を強く掲げ、区民ニーズに即した新規事業も数多く展開した1年でありました。区民の中にも協働の精神が浸透してきており、特に災害時において発揮できる素地が構築されつつあります。待機児対策や節電対策等も積極的に展開されており、高く評価いたします。これからも区民の声に真摯に耳を傾け、区民とともに「ふるさとかつしか」を実現することを希望します。

### 都市整備費

立石各地区の安全な街づくり、金町、新小岩、立石、高砂、堀切の各駅周辺の街づくりや、青戸六・七丁目地区の街づくり、安心歩行エリア整備事業などを着実に進めており評価します。新小岩駅ホームドアの設置や駅南北自由通路など、これらのさらなる推進を求めます。京成連続立体交差事業、駅周辺駐輪場の整備、歩道勾配改善事業、桜堤を含む水辺のネットワーク事業、地中空洞化対策、通学路の安全対策、自転車事故の減少対策、自転車利用環境の整備、高齢者などが外に出たくなる街づくりに積極的に取り組むことを求めます。

### 教育費

新教育振興基本計画を着実に推進し、着実な学力の向上に結びつけるよう強く望みます。小中一貫教育のメリットを最大限に生かす取り組みを進めるよう求めます。教職員研修のさらなる拡充を求めます。不登校対策やいじめ対策では、かつしか学校問題解決支援チームを強化するとともに、学校長の裁量権の拡大を図りしっかりと取り組んでいただきたい。国際理解教育の積極的な推進を要望します。学校避難所運営においては各関係者との連携を密にとりながら実効性のある運営を望みます。

### その他、各特別会計

つきましては、適正な決算であると認定し、引き続き着実な事業の執行を望みます。

## 日本共産党葛飾区議会議員団

### 区役所建替えより区民の暮らし優先にすめるべき

2012年度は、デフレ経済が国民のくらしを直撃し、雇用不安、収入減が続く一方、消費税増税法案が強行され区民の不安はかつてなくひろがってきました。こうした時、介護保険料、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料の負担増を区民に押し付けることとなり、区政もまた区民のくらしを大きく脅かすものとなりました。

### 区役所建替え

区役所建替え計画は、まだ、築35年の新館まで壊して、すべて新しくする計画です。まだまだ使える新館まで壊す計画になっているのは、立石駅北口再開発の床を区が買い取って、区役所を移転させるというムリな計画をこり押ししようというところから始まっています。こんな無駄遣いを決して許してはなりません。

### 子どもが輝く教育の実現を

依然として、管理強化、競争至上主義の教育が葛飾区の子どものために深刻な影響を及ぼしています。確かな学力定着度調査(葛飾版学力テスト)の公表は、結局、各学校の序列化をおおっています。その結果に基づいて学校選択制が強力に作用し、教育委員会自らが、学校間の格差を広げているという根本的な反省がないことが大問題です。

### 放射能から子どもたちを守って

子どもたちの健康を守るために、引き続き放射線量の測定と迅速な除染を行うべきです。しかし、「面的な汚染はない」と強弁し、測定も除染も大幅に後退させていることは重大です。子どもの健康調査を拒否していることも、認められません。

## 日本共産党葛飾区議会議員団

### 区役所建替えより区民の暮らし優先にすめるべき

2012年度は、デフレ経済が国民のくらしを直撃し、雇用不安、収入減が続く一方、消費税増税法案が強行され区民の不安はかつてなくひろがってきました。こうした時、介護保険料、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料の負担増を区民に押し付けることとなり、区政もまた区民のくらしを大きく脅かすものとなりました。

### 区役所建替え

区役所建替え計画は、まだ、築35年の新館まで壊して、すべて新しくする計画です。まだまだ使える新館まで壊す計画になっているのは、立石駅北口再開発の床を区が買い取って、区役所を移転させるというムリな計画をこり押ししようというところから始まっています。こんな無駄遣いを決して許してはなりません。

### 子どもが輝く教育の実現を

依然として、管理強化、競争至上主義の教育が葛飾区の子どものために深刻な影響を及ぼしています。確かな学力定着度調査(葛飾版学力テスト)の公表は、結局、各学校の序列化をおおっています。その結果に基づいて学校選択制が強力に作用し、教育委員会自らが、学校間の格差を広げているという根本的な反省がないことが大問題です。

### 放射能から子どもたちを守って

子どもたちの健康を守るために、引き続き放射線量の測定と迅速な除染を行うべきです。しかし、「面的な汚染はない」と強弁し、測定も除染も大幅に後退させていることは重大です。子どもの健康調査を拒否していることも、認められません。

## 自由民主党議員団

### 区民との協働の精神のより一層の発揮を

平成24年度は東日本大震災の影響がまだまだ残っていたものの、区民との協働を強く掲げ、区民ニーズに即した新規事業も数多く展開した1年でありました。区民の中にも協働の精神が浸透してきており、特に災害時において発揮できる素地が構築されつつあります。待機児対策や節電対策等も積極的に展開されており、高く評価いたします。これからも区民の声に真摯に耳を傾け、区民とともに「ふるさとかつしか」を実現することを希望します。

### 都市整備費

立石各地区の安全な街づくり、金町、新小岩、立石、高砂、堀切の各駅周辺の街づくりや、青戸六・七丁目地区の街づくり、安心歩行エリア整備事業などを着実に進めており評価します。新小岩駅ホームドアの設置や駅南北自由通路など、これらのさらなる推進を求めます。京成連続立体交差事業、駅周辺駐輪場の整備、歩道勾配改善事業、桜堤を含む水辺のネットワーク事業、地中空洞化対策、通学路の安全対策、自転車事故の減少対策、自転車利用環境の整備、高齢者などが外に出たくなる街づくりに積極的に取り組むことを求めます。

### 教育費

新教育振興基本計画を着実に推進し、着実な学力の向上に結びつけるよう強く望みます。小中一貫教育のメリットを最大限に生かす取り組みを進めるよう求めます。教職員研修のさらなる拡充を求めます。不登校対策やいじめ対策では、かつしか学校問題解決支援チームを強化するとともに、学校長の裁量権の拡大を図りしっかりと取り組んでいただきたい。国際理解教育の積極的な推進を要望します。学校避難所運営においては各関係者との連携を密にとりながら実効性のある運営を望みます。

### その他、各特別会計

つきましては、適正な決算であると認定し、引き続き着実な事業の執行を望みます。

民主党 葛飾

長期的な視点に基づいた  
財源配分と施策の遂行

総務費 総務管理費については、医療環境の現況・向上策等調査経費は、調査結果を基に旧松上小跡地に病院誘致の決定をしたことを高く評価する。急性期、回復期、救急医療、病床数等不足している医療資源や医療機能は多い。区民の生命・健康を守るために医療環境の改善に向け取り組むことを強く望む。広報かつしか発行経費は、紙面をカラーにするなど工夫をしたことを評価し、子育て情報の掲載項目を追加することを望む。民間建築物耐震診断・改修事業経費は、助成制度の拡充を大変評価する。さらなる実績値の向上と耐震化推進計画の目標達成を望む。

産業経済費 産業振興費については、中小企業・若者マッチング事業経費は、バスツアーや学校訪問相談会などの実施時期・方法を工夫し、生徒・企業の参加を促進するよう望む。

福祉費 高齢者福祉費については、救急医療情報キット給付事業経費は、利用法を含め、事業全体の広報や医師会との連携を深め、情報の更新等を望む。児童福祉費については、認証保育所運営費助成は、保育料の格差是正の観点から大変評価する。災害対策用品購入費は災害時の情報伝達について、既存のPIS等が混線することも予想される。地域で拠点となる保育園での防災無線や室内受令機等の設置を求む。家庭福祉員運営委託経費は、待機児童の対策としても高く評価し、今後は地域偏在等を考慮し、より多くの子どもを預かるよう保育マスペースの拡大を望む。生活保護費については、生活保護受給者就労支援事業等委託費は、予算の増大や他事業との連携など発展的な継続を望む。

環境費 環境推進費について、屋上  
化面積が伸び悩んでいる。緑化した結果  
どのよう効果を生むのかをより区  
民に周知する努力を望む。清掃費につ  
いて、集団回収促進支援経費は、加算  
金の創設は評価する。団体数・回収量  
も増え、団体側にもインセンティブが  
働いたものと考えられる。今後も報奨金額  
や事業者への対応を含め、包括的に循  
環型社会・協働する社会に向けて取り  
組んでいただきたい。

都市整備費 街づくり費については、新小岩駅周辺開発整備事業経費は、完成後2年が経過した中で東北広場のタスクシールド及びタスクシー乗り場は殆ど利用されていない。区民サービス向上のため、危機感を持って早期の改善を求める。道路橋梁費については、放置自転車対策等経費は、整備費助成金の拡大及び駅周辺放置自転車対策への民間のノウハウ導入を促進するよう求む。

教育費 教育総務費については、小中一貫教育推進経費は、一貫校だけに効果を止めるのではなく、小中連携として波及できるように、効果の分析・検証を一層丁寧に行うよう望む。スクールソーシャルワーカー派遣事業経費は、不登校などに対して、チームとして対応するシステム構築を評価する。教員の学級経営能力の向上とともに、不登校対策をより一層きめ細かく対応するよう求める。教育情報化推進経費は、子どもと向き合う時間を創出するためより便利で使いやすい、双方向性を活用してさらなるシステム向上を望む。小学校費については、学校給食運営経費は、毎日2万9千人余りが食べている給食について、食品添加物等を使用していないことを高く評価する。また、食物アレルギー等について、小中学校合わせて94人が学校に届け出している現状の中で、管理指導表をもとに9月から学校職員の役割分担を明確にしていることを評価する。

また、各特別会計については、適切に執行されているものと認める。

地域政党 葛飾

景気の動向に左右されにくい適正な  
財政運営と安心・安全な街づくり

今般、ゆるやかな景気回復の傾向が示されているが、一方では、実態経済として中小企業などは未だ景気回復を感じられない傾向も示されている。このような不明確な社会経済状況の中でこそ適正な財政運営が求められる。また、葛飾区のすべての事務事業に危機管理の視点と体制を取り入れ、区民の生命と財産を守るための仕組みづくりを進められた。

総務費 医療環境の現況・向上策等調査経費は、本区の不足する医療環境充実に向けた重要な施策である。当初区長が示した300床確保に対し東京都が示そうとしているベッド数は大きな開きがある。現在は、特命担当課長が対応しているが、重要な区政課題なので組織の見直しを求める。災害対策経費では、装備品・備蓄品として小中学校全校にポットを配置しているが、防災訓練等で活用されていない。地域性を考え必要な地域への重点配備等活用策を講じられたい。さらに、初動態勢の強化では、災害の種類・質・発生時間等きめ細かなシミュレーションを行い、職員配置もより実践的な態勢を構築すべきである。同対策経費は全ての問題解決に至っていないので継続すべき。

産業経済費 商店街宅配サービス事業が休止となったが、一切の説明がない。責任の所在はどこにあるのか。東四つ木工場ビルは地域防災上、重要であり、近隣保育園の避難所としての活用が求められているので適切に対応すべき。

無所属 (※1)

現場の意見や実態に即した  
事業の着実な推進を

旧松上小学校跡地への病院誘致については、本区では急性期・回復期・救急医療等がかなり不足しているのは事実であり、300床確保のため、区長が先頭になり全力で取り組んでもらいたい。職員費については、再任用・再雇用の採用時には、やる気のある職員採用を厳格にしてもらいたい。

保健所については、「6つの保健センターの統廃合ありき」ではなく、開業医・病院などの資源を生かすべく、再考を期待します。また、保健所の使命と私が考える「自殺予防・予防接種・インフルエンザ対策・食育」のさらなる実行を期待します。そして、地域医療連携事業は大いに期待します。

生物多様性かつしか戦略には、生態系の再生・保全へ、最大の努力を求めます。

また、京成線荒川橋梁架替事業については、河川法の適用だが、都市計画法に近い手段を考えて、着実な事業の実行を求めます。区内の各小中学校の建替え計画は、速やかに発表できるよう期待します。確かな学力の定着度調査の結果については、現場の教師との議論を通じて効果の分析をしっかりと行い、次に生かすための努力を期待します。また、保田しおさい学校については、初任者研修・養護教諭研修・管理職研修での訪問を定例化してほしい。また、肥満・ぜん息等の早期回復のために家庭の拡張を強く望みます。学校選択制については、見直しをしてほしい。各特別会計決算については、おおむね適切であったと認定します。

無所属 (※2)

公正な会計制度を確立せよ  
会計書類の不一致は正せ

東京都競馬株式会社の株式(時価7億円相当)を区民に無断で第三者に贈与し、しかも株主でなくなったのに株式配当金という名目で、第三者から金員の支給を受けているということ。これは、区民を愚弄する詐欺行為である。このような悪徳商法さながらの行為を働いて天に恥じない区職員、決算審査特別委員会指摘をしても知らぬふりをしてる監査委員、これでも近代法治国家の地方自治体と言えるのか。このような不正な行為を、これ以上黙認することはできない。直ちに住民監査請求を行う。その結果によっては納税者訴訟を提起して司法の判断を仰ぎたい。不適正な行政の態度に、大きな怒りを感じている。

「我れ叫ばずんば石叫ぶ」である。青戸3丁目所在の公有地不法占拠事件は、発生以来十余年を経過しており、本件不法占拠者は公有地内に無断で建物を無許可建築し、クリーニング工場を設置稼働しているが、建物所有名義や工場稼働名義を第三者名義として無断で使用している。この間、区道路管理課は事実上の不法占拠者を確認できずに右左往するのみで、違反建築行為に対する工事停止命令の決定もせず、工場認可、営業許可を不法行為者等に与え、白昼公然と違法建築を堂々と営業をなさしめ、これを放任するとうる無責任ぶりをさらけ出し、多くの善良な区民の指弾を受けている。この失われた十余年の歳月をただたす術を知らず、不法占拠の横暴を放任してきた行政の責任は重い。必死になって対応に取り組んだ実績は全く認められず部長・課長らの責任を問いたい。人間ならば恥を知れ。

人間ならば恥を知れ。